

■ 高校生が25の企業・団体のリアルな課題解決に挑戦中 ■

関大北陽高「^{カタナ}企×学協働プロジェクト『刀』」

～ 満足度 93.3%を誇る、SDGs を軸にした産学連携による探究学習 ～

関西大学北陽高等学校では、2022年度から探究学習の一環として、企業と学校によるSDGsの達成を目指す協働プロジェクト「刀」を実施しています。高校卒業後に武器となる力をつけてほしいという思いから「刀」と名付けられた同プロジェクトでは、同校生徒が小売業やメーカーなど25の企業・団体の課題解決への取り組みを通して、思考力や判断力、表現力を養うほか、企業等が直面する課題に触れることで、社会への興味・関心を掻き立たせる狙いがあります。

本件の
ポイント

- ・高校生が25の企業・団体と協働してSDGsの課題解決に取り組む産学連携プロジェクト
- ・2022年度から必修化された「総合的な探究の時間」において高校生と企業・団体が5ヶ月間かけて協働
- ・企業・団体が直面するリアルな社会課題に対して、高校生ならではの視点で解決策を提案

自ら問いを立て、調査・分析を行う探究学習は、従来の「調べ学習」と異なり、決められた答えはなく「知りたい」という気持ちを出発点とする学びです。これは本学が教育方針に掲げる「“考動力”ある人材の育成」に呼応する学習であり、知識伝達型ではなく、教師と生徒の協働による学習環境の構築が、現在の教育現場では一層求められています。

プロジェクト初年度の2022年度は、若い世代の視点を活用した商品を開発するなど、高校生のみならず企業からも高い評価を得て、2年目となる2023年度は初年度を大きく上回る25の企業・団体から参加申込がありました。継続を希望する企業・団体の割合は80%以上と、そのリピート率からも満足度の高さが伺えます。

参加する高校1年の生徒約330人は、すでに自身の興味関心に基づき、各団体とマッチングを完了。現在は、チームごとに課題解決に向けた実地調査やインタビューなど、教室を飛び出した学習をスタートさせたところです。

2022年度、高校生が
開発した商品



↑ 廃棄衣料から作られた↑
ノート・単語帳

<関西大学北陽高等学校「企×学協働プロジェクト『刀』」の概要>

■ 主な協力団体 ※五十音順

AOI TYO Holdings、岩谷産業、NTT コミュニケーションズ、花王グループカスタマーマーケティング、キッズデザイン協議会、合同食品、小林製薬、サノフィ、上新電機、白ハト食品工業、水都大阪コンソーシアム、ソリッドソニック、ダイハツ工業、たこ八、テラモト、日本気象、日本旅行、MightyNeo、マテックス、丸大食品、ミズノ、武庫川女子大学生生活美学研究所、明治安田生命保険、らくたび、リコージャパン

■ 具体的課題（一例）

- ・水素について若年層への理解をしてもらう取り組みを提案（岩谷産業）
- ・ニキビの正しい予防方法を、中・高生の方に興味を持っていただくためにどのようにお伝えするか？（小林製薬）
- ・聞こえに関するハンデが存在しない社会を実現する方法を提案（ソリッドソニック）
- ・代替食品を普及させるためのモノ(商品やサービス)・コト(体験や経験)を提案（丸大食品）

■ 最終成果学年発表会

【日時】3月14日(木)9:40～12:30 【場所】関西大学北陽高等学校(大阪市東淀川区上新庄1-3-26)

最終成果学年発表会のみならず、各企業・団体との取り組み過程や、授業の様子など、お好きなタイミングで個別に取材いただくことも可能ですので、本件に関する取材についてご検討をよろしくお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：玉村、明原、中村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp